うりがいに 応える人事

-やる気・達成感・モチベーションを刺激せよ

株式会社日本総合研究所 ヒューマンキャピタルソリューションズ ディレクター 兼 主席研究員

寺崎 文勝

■カネや出世以外の動機づけに注目

社員の入社動機。またその会社で働き続けるポイ ントとして「やりがい」を挙げる声が目立ってい る。「やりがい」の中には当然「賃金」や「出世」 も含まれるが、それだけではなさそうだ。要は 「手応えがほしい|「周囲や社会の役に立ちたい、 認められたい|「得意分野で成長したい|「後世に 残る仕事をしたい」といった多様な欲求が背後に ある。そうした要求に、会社はどう応えていくの か。どのような施策に落としていけるのか。人事 制度とモチベーションの事情に詳しいコンサルタ ントの寺崎文勝氏に、ヒントを探っていただいた。 旧来型の訴求(「ウチはやる気があれば稼げるし、 出世も早い|)では、空回りする危機が迫っている (編集部) ようだ。

■構成

■ 「やりがいに応える人事」を実現するために

- 1. 「やる気」を引き出すためにはどうすればよいか 2.結果に報いるだけではやる気は引き出せない 3.不満の解消と動機づけの違いに注意
- 2 意味のある仕事を与える
 - 1.「仕事」ととらえるか、「労働」ととらえるかはマネジメント次第 2.社会的な意義を伝える 3.仕事のゴールを設定する
- 3 自己効力感を与える
- 1.自尊心を満たすことも報酬
- 2.健全な自尊心は自己効力感から
- 3.成功体験を与える
- 4.代理体験をさせる
- 5.言語的説得をする

4 人を育て、成長実感を与える

1.人材育成がやる気を引き出すカギ 2.研修だけでは人は育たない

5 賃金体系を見直す

- 1.報酬原資は等価値なのか 2.金銭報酬のメッセージを理解する 1) 基本給与 2) 福利厚生 3) 余禄
- 6 業績賞与を是正する
- 1. 「やったのに報われない」成果主義はダメ 2.業績賞与と業績連動賞与は別のもの
- 7 成果主義を再構築する
- 1 あるべき成果主義の姿とは 2.お金だけが成果主義の報酬ではない
- 8 認知プログラム
- 1.認めることで承認欲求を満たす 2.表彰制度は多くの人に有効
- 3.誇れるマイスター制度を運用する
- 9 言葉の報酬を与える

3.叱ることの重要性

1.日々の言葉を報酬にする 2.認知と感謝はワンセットで

■寺崎文勝(てらさき ふみかつ):

早稲田大学第一文学部卒。事業会社の人事部門、三和総合研究所、トーマツコンサルティング等を経て現職。 人事コンサルティングでは、幅広い業種において、組織人事戦略の策定、人事制度設計を中心に、関与実績 は200社超。役員報酬コンサルティングでは、上場企業を中心に役員報酬改革や企業統治改革を手がけ、関 与実績は30社を超える。人事制度セミナー講師等でも活躍中。主な著書に『報酬マネジメント基礎講座』労 務行政,『役員報酬マネジメント』中央経済社,『勝てる会社の人材戦略』総合法令出版,『人事マネジャー の仕事』日本能率協会マネジメントセンター、ほか。 E-mail: terasaki.fumikatsu@jri.co.jp



- ■日本総合研究所:東京本社 〒102-0082 東京都千代田区一番町16番
- ●TEL: 03-3288-4700 (代) ●ホームページ: http://www.jri.co.jp/